

**製品名: ミオシン Id ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14342**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	MYO1D
別名	MYO1D; KIAA0727; Unconventional myosin-Id
遺伝子 ID	4642.0
SwissProt ID	O94832
免疫原	抗血清はヒト MYO1D 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 825-874

**背景**

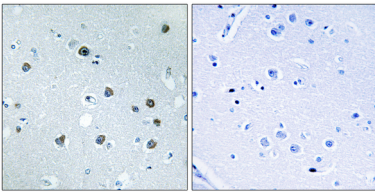
機能: ミオシンは、ATPase 活性を持つアクチンを基盤としたモーター分子です。非従来型ミオシンは細胞内運動に関与します。ミオシンの大きく異なる尾部は膜状の区画に結合し、アクチンフィラメントに対して相対的に移動すると考えられています。類似性: ミ

オシン頭部様ドメインを1つ含みます。類似性: IQドメインを2つ含みます。サブユニット: IQモチーフを介してカルモジュリンに結合します。組織特異性: 多くの組織で発現します。脳で最も多く、次いで肺、卵巣で、脾臓で最も少なく発現します。機能: ミオシンは、ATPase活性を持つアクチンを基盤としたモーター分子です。非従来型ミオシンは細胞内運動に関与します。大きく異なる尾部は膜状区画に結合すると推定され、アクチンフィラメントに対して相対的に移動する。類似性: ミオシン頭部様ドメインを1つ含む。類似性: IQドメインを2つ含む。サブユニット: IQモチーフを介してカルモジュリンに結合する。組織特異性: 多くの組織で発現する。脳で最も高く、次いで肺と卵巣で、脾臓で最も低い発現を示す。

## 研究分野

-

## 画像データ



MYO1D抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。